

ウイルス感染予防

『換気の悪い密閉空間』を見える化



LogBee
ログビー

Logbee HarucaCO2(長距離無線CO2ロガー)
(CWB-22SR/CWS-38C)を使って換気の状態
(二酸化炭素濃度)を数値化・可視化し遠隔から監視

チトセ工業株式会社

Logbeeシリーズウイルス感染予防への応用

厚生労働省より新型コロナウイルス感染症対策専門会議の見解として

「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気の方法について推奨される換気の方法が公表されました
(令和2年3月19日公表)

【推奨される換気の方法】

ビル管理法(建築物における衛生的環境の確保に関する法律)における空気環境の調整に関する基準に適合していれば必要換気量(一人あたり毎時30m³)を満たすことになり「換気が悪い空間」には当てはまらないと考えられます ー抜粋ー

ー空気環境の基準として二酸化炭素の含有率 1,000PPM以下ー

■ HarucaCO2の特徴

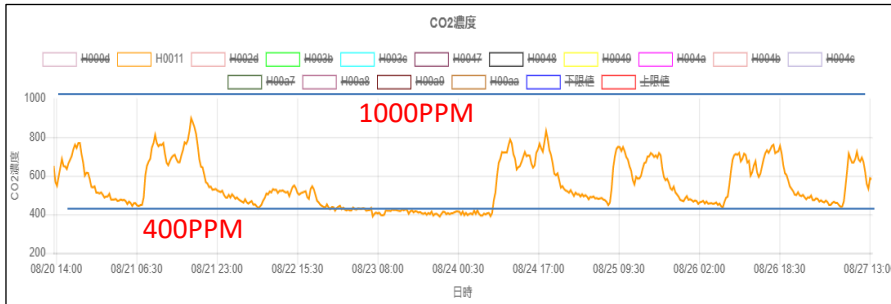
- 長距離通信: 通信距離は見通し10km
- 異常時のアラートメール発報
- 温度・湿度・照度・CO2濃度センサと一体化
- アルカリ単3電池4本、約3ヶ月連続動作
- 親機1台に30台の子機が接続でき複数箇所を監視可能



子機



システム構成



グラフ表示



使用例: 弊社事務所

画面表示

■ こんなところにおすすめ



コンサートホール(楽屋・ロビー)



学校・各教室



イベント会場



オフィス・会議室



飲食店・テナント



美術館・博物館